

---

# 狂

クルーガー

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】  
狂

【Nコード】  
N6342E

【作者名】  
クルーガー

【あらすじ】  
神を信じ祈り裏切った。見慣れた暗闇を歩いていく。

扇風機は順調に私にぬるい風を送ってくる。

暗闇に漏れる携帯の光。

耳にはイヤホン。

私は音楽に支配されていた。

神を信じ捧げた体は穢れていた。

未来を、夢見て私は輝いていた。

あの日は、私を変えてしまうにはちょうど良かった。

買ったばかりの本を電車で読む。

私にとっては非現実的世界を綴る、語る狂った本。

何かにとりつかれたように私は紙の上を記号をめで追う。

電車がおりる駅に着いた時には私は変わっていた。

狂っていた。

知らない男が私を呼んでいる。

行かなきゃ。

マリアが私を悲しそうに見ていた。

神が怒る。

私は、笑っていた。

生暖かい風が体に纏わり付く。

柔らかな肉を求めてさまよう手。  
激しい息遣い。

私は、濡れていた。

痛みが私を生かしていくれる。  
そんな気がした。

あの日私は血を流した。  
彼女の涙だったのかもしれない。

私は自ら己を失い、そして手に入れた。

私の心に光は届かない。  
ひたすらあの肉を求めている。

さあ今日も行く時間がきた。

鞆に携帯電話を突っ込んで耳にはイヤホン。

私は音楽に支配されている。  
微かに猫の発情した声が聞こえた。

空を見上げると月は半分欠けている。  
欠けた月は何かを追われたように移動していく。

私は何かに追われているのだろうか。

何を考えてるんだろう。

再び前を向いて見慣れた闇の中を歩く。

あの日感じた感情を確かめるために。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6342e/>

---

狂

2011年1月23日02時23分発行